

児童虐待から社会の連携を考える ～児童虐待から子どもを守れ！！～

一ハ木ゼミー



1年間のながれ

メイントーク

- ・グループワークとクラス報告
- ・第8回子ども支援セミナー
- ・SSW 親子交流行事
- ・かたりば。

サブトーク

- ・赤穂市教育研究所、赤穂市青少年育成センター訪問
- ・虐待のロールプレイング
- ・上郡高校生との交流

児童虐待は重大な社会問題！！

平成から令和に元号が変わりましたが、悲惨な児童虐待が増加しています。

特に、昨年から今年に掛けて起こった目黒女児虐待事件や野田小4女児虐待事件等、日本を震撼させる様な、大きな事件が立て続けに起こりました。

なぜ、この様なことが起こっているのだろうか？私たち八木ゼミは、なぜ『深刻な児童虐待』が起こってしまうのか、その原因と要因は何かを考え、グループワークや子供支援セミナー等の活動を通して考える活動を行いました。

第8回子ども支援セミナー

「児童虐待と家族支援～親子関係のバッドサイクルからグッドサイクルへ～」と題して、親子関係に注目し、児童虐待が起こるメカニズムについてご紹介いただき、親子関係が難しくなった結果として児童虐待が起こるサイクルを解説するとともに、予防・防止に向けた親子関係の在り方について聴講者とともに考える講演となりました。そして私たちは、今まで調べてきた内容をポスターにしてまとめて発表しました。

親子班

親が子を精神的に支配してしまう

虐待する親ほど、保護に反対し、そして、「しつけとしてやっているので虐待ではない」と言い自分が悪い事を認めない傾向が高い。

実際は、預けることにより自分の手元から子どもがいなくなり、ストレスの捌け口（虐待する事）が無くなってしまうことが嫌という心理が働く事がわかった。

障害班

虐待×子どもの障害

虐待のハイリスクとされている障害のある乳幼児期の子育てにおいて、不適切な養育が引き起こされるメカニズムは下記の3つが主な要因であるということが分かった。

- ① 母親の「閉じこもり」による人間関係の断絶 ② 子どもの情緒・行動の問題 ③ 母親のメンタルヘルスの危機

*重大なリスク要因は周囲との関係断絶であり、関係への介入に着目することが必要である。

虐待班

「世代間連鎖」

親は、初めはしつけのつもり…しかし、それがいつの間にか不満の捌け口に。またしつけの楽な手段として暴力を選んでしまう。子どもは暴力を受けて、指導と認識してしまう。また、日常的に暴力を受けるため暴力に対するハードルが下がる。

*以上の事から、その子が大人となった時、しつけとして暴力（虐待）を行ってしまう。

心理班

「心理的虐待」

DVを見ている子どもは、家庭の悲惨な現状とは裏腹にそのことを誰にも相談する事が出来ないことが多い。

子どもは家庭や周囲に自分の頑張りが評価されにくい環境であり、自己肯定感が下がってしまうケースが多い。これが、子どもの精神や情緒の成長の妨げとなってしまう。

SSW 親子交流行行事

SSW 親子交流行行事とは…

地域に住まわれるご家族を大学内にお呼びし、
学生の企画したアトラクションで遊んでもらうという行事

目的

地域に住まわれる親子に集まさせていただき、この行事を通じて
親子の絆を深めていただくことを目的としている。

企画内容

- ・ペットボトルボウリング
- ・巨大迷路
- ・射的
- ・輪投げ
- ・フリスビー
- ・スーパーボールすべり
- ・鍋敷き、写真フレーム製作など…



子どものアンケート結果

- 「楽しかった！」
- 「来年も来たい」
- 「全部よかったです！！」

親のアンケート結果

- 「秋の一日を子ども達と過ごせてよかったです」
- 「子ども達がいつもより活き活きとしていた」
- 「学生さんの対応がよかったです。お疲れ様でした」

上郡高校生との交流会

10月29日、上郡高校の生徒と虐待についてや大学進学について話し合いました。

大学進学についての話し合いでは、「大卒は就職するうえで必要な資格となっており、
進学は必要だ」という声があがりました。

また、学生と高校生で今年起こった児童虐待事件について調べ、意見を述べ合いました。

かたりば。

かたりば。とは..

色々な考えを持っている学生や社会人、先生たちが色々なテーマで語るコミュニティCAFE

活動場所

小規模多機能型居宅介護「大久保苑」

1階デイルーム

方針

進行形態はワールドカフェ方式を採用しており、



無理に発言する必要はなく自由に語り合える。

目的

- ①福祉に興味がない学生が「語ること」を通して自然と福祉に興味を持つきっかけにしてもらう。
- ②福祉に興味がない学生に自然と福祉施設に訪れるきっかけにしてもらう。
- ③福祉に興味がある学生が、福祉を学んだり、実際に福祉業界で働いている人と接点を持つことで、より興味が高まり、思いがより具体化する。

まとめ

虐待には経済的問題や障がい、虐待の世代間連鎖等様々な要因が絡んでいる。

しかし、数多くある要因の中でも最大の要因は「孤立」であると考える。

地域からの孤立、家族からの孤立、社会からの孤立…こうした孤立が虐待を生み出す要因なのである。

そして、この「孤立」を防ぐためには、地域とのつながりを持つ空間や、親子の絆を深められる機会が大切であるといえる。